

営業倉庫の種類

倉庫の種類		概要	保管できる物品例	
営業倉庫	普通	1類倉庫 (建屋)	第1類～第6類物品を保管する倉庫 危険物等を除き、とくに保管物品に制限がない	一般雑貨、米など
	通倉	2類倉庫 (建屋)	第2類～第6類物品を保管する倉庫 耐火性能を有せず、保管物品に制限がある	麦、でん粉、飼料、野菜類、果実類など
		3類倉庫 (建屋)	第3類～第5類物品を保管する倉庫 防水、防湿、遮熱、耐火性能の他、防鼠措置を有せず、保管物品に制限がある	陶磁器、ガラス器など
		野積倉庫 (整地)	第4類～第5類物品を保管する倉庫 野積みの状態で保管し、周囲を塀や柵などで防護する必要がある	鉱物、土石、原木、レンガ、かわらなど
	庫	貯蔵槽倉庫 (サイロ・タンク)	第1類～第2類物品のうち、ばらで保管する物品及第6類物品を保管する倉庫 穀物等のバラ貨物や液体を保管する	小麦粉など
		危険品倉庫 (建屋・タンク)	第7類物品を保管する倉庫 石油、化学薬品等の危険物を保管する	ガソリン、灯油など
		水面倉庫	原木を水面において保管する倉庫	原木
	倉	冷蔵倉庫	第8類物品を保管する倉庫 冷凍水産物、食肉など常時+10℃以下で保管することが適当な物品を保管する C3級 (+10℃～-2℃未満) C2級 (-2℃～-10℃未満) C1級 (-10℃～-20℃未満) F1級 (-20℃～-30℃未満) F2級 (-30℃～-40℃未満) F3級 (-40℃～-50℃未満) F4級 (-50℃以下)	水産加工品、冷凍食品など
	庫	トランクルーム	その全部又は一部を寄託を受けた個人(消費者)の物品の保管に供する倉庫	事務文書、絵画など
	自家用倉庫		メーカーや卸売業者などが、自己の物品を保管する倉庫寄託契約は存在しない	

※ 各倉庫の設備の基準に対応する書類については、チェックリストをご活用下さい。